

<もう教育部門理療科>

育てたい生徒の姿

- ・主体的に学習に取り組み、理療の知識・技術及び施術者としてふさわしい態度を追究する生徒
- ・自身の障害特性を理解し、健康的な生活について学び、実践することのできる生徒
- ・自分と他者を理解、尊重し、社会の中での自身の役割を見つけることのできる生徒

学部教育目標

- ・学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、施術者としての資質・能力を身に付けられるように、教科・科目のつながりを意識しながら学習を進めることができる。
- ・見え方に応じた情報の取得方法や安全な歩行技術を獲得し、自立を目指す。
- ・臨床実習など地域住民との交流を通じた実践的な学習活動を行うことでよりよい人間関係を形成できるようにする。

学部運営の方針

項目	運営方針	年間計画
生徒理解・ 生徒支援	○生徒の日々の様子を丁寧に見取り、職員間で情報共有して適切な支援へつなげる。	学校生活及び寄宿舍との連携
学習指導	○見え方に応じた資料を作成し、必要に応じて補助器機の利用を検討、指導する。	教科学習
生徒指導	○他者とのコミュニケーションを通して、自己理解を促し、よりよい人間関係を形成できるようにする。	理療科内での交流授業の実施、生徒指導部との連携
進路指導・ キャリア教育	○自らの進路の実現に向けて、必要な知識・技能の習得が行える学習環境を整備し、計画的に指導に当たる。	関係施設の見学・体験学習の実施
保健 給食指導	○健康に働くための体力作りや個々の障害に応じた健康教育を継続的に実践する。	ホームルーム、体育・障害者スポーツ、給食
保護者や関係機関との 連携	○学校と家庭、それぞれの生活を両立できるよう連携を取る。	必要に応じて実施

教 育 課 程							教 育 内 容	
教 科	科 目	単 位 数				履 修 方 法		
		第1学年	第2学年	第3学年	計			
基 礎 分 野	国 語	現 代 の 国 語	2	2		2	科学的思考の基礎 人 間 と 生 活	
		言 語 文 化				2		
	地 理 歴 史	地 理 総 合	2	2		2		
		歴 史 総 合				2		
	公 民	公 共			2	2		
	数 学	数 学 I	2			2		
		科学と人間生活		2		2		
	理 科	生 物 基 礎	2			2		
		保 健 体 育		(2)※1		0		
	芸 術	保 体 育	2	3	2	7		
		音 楽 I		2		2		選択履修
		美 術 I						
書 道 I								
外 国 語	英 語 コミュニケーション I	2			2			
家 庭	家 庭 基 礎			2	2			
情 報	情 報 I	(1)※2	(1)※2		0			
小 計		12	11	6	29			
専 門 基 礎 分 野	保 健 理 療	医 療 と 社 会	1		1	2	保健医療福祉とあん摩マッサージ指圧、はり及びきゅうの理念	
		人体の構造と機能	10	1		11	人体の構造と機能	
		疾病の成り立ちと予防		2	2	4	疾病の成り立ち、予防及び回復の促進	
		生活と疾病		5	2	7		
	小 計		11	8	5	24		
専 門 分 野	保 健 理 療	基 礎 保 健 理 療		3	2	5	基礎あん摩マッサージ指圧学	
		臨 床 保 健 理 療			6	6	臨床あん摩マッサージ指圧学	
		地 域 保 健 理 療 と 保 健 理 療 経 営			1	1	社会あん摩マッサージ指圧学	
		保 健 理 療 基 礎 実 習	4	4		8	実習	
		保 健 理 療 臨 床 実 習			6	6	臨床実習	
	小 計		4	7	15	26		
/	課 題 研 究			1	2	3	総 合 領 域	
		保 健 理 療 情 報	1	1		2		
	小 計		1	2	2	5		
小 計		28	28	28	84			
特 別 活 動 (ホ ー ム ル ー ム)		1	1	1	3			
自 立 活 動		1	1	1	3			
総 合 的 な 探 求 の 時 間			(1)※3	(2)※3				
合 計		30	30	30	90			
備考								
※1 保健の2単位については、疾病の成り立ちと予防2単位で代替。								
※2 情報Iの2単位については、保健医療情報2単位で代替。								
※3 総合的な探求の時間3単位については、課題研究3単位で代替。								

教育課程 高等部もう教育部門専攻科理療科

教 育 課 程							履修 方法	教 育 内 容
	学習指導要領の 科 目 名	単 位 数						
		第1学年	第2学年	第3学年	計			
基礎分野	人間関係学 ※1	2	2	2	6		科学的思考の基礎 人間と生活	
	障害者スポーツ ※1	2	2	2	6			
	理療情報 ※1	2			2			
	小 計	6	4	4	14			
専門基礎分野	医 療 と 社 会	1		2	3		保健医療福祉とあん摩 マッサージ指圧、はり 及 びきゅうの理念	
	人体の構造と機能	10	3		13		人体の構造と機能	
	疾病の成り立ちと予防	2	2		4		疾病の成り立ち、 予防及び回復の促進	
	生 活 と 疾 病		12※2	2	14			
	小 計	13	17	4	34			
専門分野	基礎理療学	5	3	2	10		基礎あん摩マッサージ指圧学 基礎はり学、基礎きゅう学	
	臨床理療学		6	9	15		臨床あん摩マッサージ指圧学 臨床はり学、臨床きゅう学	
	地域理療と理療経営	1		1	2		社会あん摩マッサージ指圧学 社会はり学、社会きゅう学	
	理療基礎実習	8	6	6	20		実 習	
	理療臨床実習		2	5	7		臨床実習	
	課 題 研 究			1	1		総合領域	
	基礎理療学			2	2			
	理療臨床実習		2	5	7			
	小 計	14	19	31	64			
合 計	33	40	39	112				

※1 基礎分野の人間関係学、障害者スポーツ、理療情報については、15時間を1単位として算出する。

※2 専門基礎分野の第2学年生活と疾病については、講義のため15時間を1単位として算出する。